

山梨ワイナリー協会 SDGs宣言

山梨県は日本におけるワイン造りの発祥の地として、ワイナリー数、日本ワイン生産量日本一を誇っています。当協会は山梨を代表するワイナリー67社が加盟する組織として、山梨県の特産品である「ワイン」の品質向上と維持に努めることで、ワイン産業の「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献し、持続可能な社会の実現に努めます。

2023年6月

山梨ワイナリー協会 会長 大村 春夫

SDGsの達成に向けた取組み

高品質な製品の提供

これまでに蓄積してきた技術とノウハウにより山梨県産ワインの品質向上と、高品質な製品の提供に努めます。

《主な取組内容》

- ・山梨県産ワインとしての安定的な品質確保
- ・産地、ブランドの維持向上に向けた責任ある生産と提供



環境との共存

景観と環境保全の重要性を認識し、共存及び改善に取り組めます。

《主な取組内容》

- ・醸造用ブドウの生産に関する取組み
- ・商品提供、ワイナリー運営に関する取組み



働きやすい職場環境の実現

職場環境を整備し、人材育成を通して、すべての協会員が働きやすい業界を目指します。

《主な取組内容》

- ・定期的な研修会の実施
- ・各種情報の迅速な共有



地域貢献への積極的な取組み

地域活性化への取組みや、社会貢献活動の実践を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

《主な取組内容》

- ・アルコール製品取扱いに関する啓蒙活動
- ・産地の活性化を目的とした接触的な活動



SDGsとは

・貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。